

平成28年度 高速交通ネットワーク整備推進特別委員会

管外視察（中華人民共和国 香港特別行政区）の概要

- 視察日程 平成28年11月7日(月)～9日(水)
- 視察者 高速交通ネットワーク整備推進特別委員会委員（13名）
森 浩二（委員長）、増永慎一郎（副委員長）、岩中 伸司、岩下 栄一、
鎌田 聡、池田 和貴、淵上 陽一、高木 健次、緒方 勇二、前田 憲秀、
松村 秀逸、大平 雄一、中村 亮彦
- 視察先
- | | |
|------------|---------------------------------|
| ①香港航空 | 【場所 香港航空本社】 |
| ②香港珠海マカオ大橋 | 【場所 HZMB プロジェクト インフォメーション センター】 |
| ③MTR社 | 【場所 MTRアドミラルティ駅構内】 |
| ④EGLツアーズ | 【場所 EGLツアーズ本社】 |
- 視察趣旨 高速交通ネットワーク整備推進に係る今後の委員会審議の参考とするため、次のとおり、視察を実施しました。

- ① 香港航空では、平成27年12月から熊本への定期便を就航していたが、熊本地震の影響により現在は運休中であることから、運行再開の要望のため訪問する。
- ② 香港珠海マカオ大橋では、香港（ランタオ島）、広東省珠海及びマカオを結ぶ海上橋、海底トンネル。片側3車線の自動車専用道路であり、人、物など都市間交通ネットワーク整備の大プロジェクトを視察する。
- ③ MTR社（香港鐵路有限公司）では、結節点であるアドミラルティ駅を視察し、交通システム、郊外でのニュータウンや旧市街及び空港を結ぶ交通機関としての鉄軌道など、交通ネットワーク整備に係る調査を行う。
- ④ EGLツアーズでは、同社が香港における日本への送客実績がトップであり、知事もトップセールスを行い、また、CEOは本県の国際観光大使となっているなど、香港からの定期便再開に影響力を持つことから、委員会として訪問する。

■ 視察の概要

① 香港航空への運行再開に向けた要望活動及び意見交換

香港航空の担当マネージャーに対し、委員会として、定期便再開の要望を行いました。香港航空側からは、各議員の再開に対する強い思いが伝わり、「熊本便の再開は

諦めない、前向きに考えている」とのコメントがありました。

その他、熊本地震後の九州全体の搭乗状況、香港の方々に県内の情報を発信するための効果的な媒体などについて意見を交換しました。



② 香港珠海マカオ大橋プロジェクトの視察

当プロジェクトのマネージャーから、都市間交通ネットワーク整備の概要、事業の効果などの説明を受け、海上橋とトンネルとの複合している整備計画、全体事業費、経済効果の考え方などについて質疑応答を行いました。



また、船上から、海上橋脚部分の建設状況の現地視察を行い、進捗の状況や工法などについて説明を受けました。

③ MTR社の鉄軌道に係る交通ネットワークの調査

MTRアドミラルティ駅にて、グループステーションマネージャーから、運営する鉄軌道の整備状況、ラッシュアワー時の対策、今後の路線拡充などの説明を受け、香港における車の渋滞と公共交通機関との関係、ラッシュアワー時の駅・車両の対策、治安状況などについて意見を交換しました。

その後、駅構内の制御・管制室や新たな路線の整備状況の視察を行いました。



④ EGLツアーズへ香港からの定期便再開に向けた協力要請及び意見交換

本県の国際観光大使も務める袁CEOと意見交換を行いました。委員会として、香港からの定期便再開に向けた協力について要請を行いました。袁CEOから、「12月から一部のコースで熊本宿泊を復活させる。熊本線が1日も早く、もとどおり月・金曜日で復活することを心からお祈り申し上げたい」とのコメントがありました。



意見交換では、南九州3県の旅行商品の傾向、熊本便が再開した場合の送客見込み等を伺い、

袁CEOから、新しい商品開発のため熊本に関する新しい情報があれば県香港事務所を通じて教えていただきたい旨のコメントもありました。